

平成28年5月25日

各 聾 学 校 長 殿
関 係 大 学 長 殿
関 係 機 関 長 殿

全日本聾教育研究会会長 平野 恵子
(公印省略)
第50回全日本聾教育研究大会(附属大会)
実行委員長 原島 恒夫
(公印省略)

予備調査の集計結果による研究発表申込状況について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年度末に実施した予備調査に際しましては、多くの学校・機関より回答をいただきました。誠にありがとうございました。

予備調査の集計結果を見ますと、例年と同様、発表予定者数に若干偏りがあります。発表件数の少ない分科会については、できるだけ多くの発表をしていただき研究協議分科会を充実させたいと考えております。皆様のご協力をいただきますよう改めてお願い申し上げます。

なお、研究発表の申込方法等については、「大会通信第2号」をご参照ください。

記

研究協議分科会名	研究発表希望者の充足状況
1 早期教育Ⅰ(乳幼児)	○
2 早期教育Ⅱ(幼稚部)	○
3-1 学力と教科教育Ⅰ(文系・小学部)	×
3-2 学力と教科教育Ⅰ(文系・中学部・高等部)	△
4 学力と教科教育Ⅱ(理系)	○
5 学力と教科教育Ⅲ(実技系)	×
6 寄宿舎教育	△
7 自立活動Ⅰ(コミュニケーション、障害認識)	×
8 自立活動Ⅱ (聴覚活用・補聴機器、「発音・発語」学習)	△
9 言語発達、言語学習	○
10 健康教育、心の教育	×
11 関係諸機関との連携、センター的機能	△
12 キャリア教育、卒業後の支援	△
13 重複障害教育、特別な配慮を要する教育	△
14 国際教育・国際交流	△

○十分である △やや少ない ×不足している

※発表本数としては、1分科会あたり5～6本が望ましいと考えております。

ご協力をよろしくお願い申し上げます。